



2021年7月26日

各位

会社名 株式会社SERIOホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 若 濱 久  
(コード番号：6567 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 後 谷 耕 司  
(TEL. 06-6442-0500)

### 2021年5月期 決算説明会 主な質疑応答 (要旨)

この質疑応答集は、7月20日に開催いたしました2021年5月期 決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）にて、ご出席の皆さまからいただいた主な質問をまとめたものです。なお、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

Q1.	今期の計画に対し、売上、利益のアップサイドが期待できるものがあれば教えて欲しい。
A1.	現状では計画通りに推移しており、現段階で特別な要因として公表できる案件はないと考えている。
Q2.	前期の人材派遣・請負における稼働率を教えて欲しい。
A2.	当社は主婦派遣をメインとしており、かなりの登録母数から曜日や時間を細かく区切ってマッチングするため、稼働率を重要指標としておいていない。そのため、外部開示をしておらず、回答については控えさせていただきます。
Q3.	中期的な待機児童数減少に対する、具体的策があれば教えて欲しい
A3.	今後は選ばれる施設になることが重要であると考えている。特性なく施設を増やしても稼働率は上がらない。引続き待機児童の顕在化している地域に展開することに加え、利用者のニーズに合わせたサービスを提供し、選ばれる保育園になることに注力していきたいと考えている。
Q4.	保育事業について、東名阪の待機児童の状況と今後の開園戦略・方針について教えて欲しい。
A4.	東名阪の待機児童の現状は、2020年4月現在の厚生労働省のデータでは、東京と兵庫が突出しており、次に東京以外の首都圏の3件、愛知の順。その中で更に市区町村レベルで偏りが出ている。 開園の戦略と方針については待機児童に関する情報収集を継続し、ニーズの多い地域に展開していきたいと考えている。現段階ではデータを元に関西の一部地域、関東、名古屋市中心にニーズがあると考えているため、その地域への展開を計画している。
Q5.	中期経営計画期間中の利益率改善要因について教えて欲しい。
A5.	間接部門の効率化を進めている。売り上げと販管費のバランスが改善し利益が出る体質になってきている。今後はさらにシステム化を推進し効率化を図りたいと考えている。また、就労支援事業では派遣契約から請負契約への切替により生産性向上が利益に寄与するような形にもっていくことと、人材紹介拡大での利益寄与を狙っている。放課後は施設ごとの採算向上を目指し、新規公募案件についても精査をしているため、こちらも利益に寄与するものと考えている。

	保育セグメントの新規事業である緑化事業も 2024 年度には利益貢献できる水準まで伸ばそうと考えている。
Q6.	前期、事務・コールセンター系の人材派遣・BPO において、他社では特別給付金に係るパブリックセクターの受注があったと聞いているが、御社はどうだったか教えて欲しい。
A6.	当社では短期的な業務の受注を行っておらず、長期的な取引で利益を見込める契約を重視している。そのため一時的なパブリックセクターの受注は行っていない。

以上